

# スクールトピックス



アサザの苗を移植する児童ら

## 未来へつなぐ～アサザの移植 翁島小学校

翁島小学校6年生の児童6人は8月29日、猪苗代湖北岸で湖水を浄化する働きがある水生植物のアサザの苗を移植しました。アサザの苗は、昨年度に種から育て、年度を越えて児童たちが毎年移植を行っています。移植には猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見賢代表が協力しました。児童は水着姿で湖水に入り、アサザの苗を丁寧に移植しました。児童たちは「アサザを植えて猪苗代湖の水質日本一の湖にしたいです」と話しました。

## みんな元気に運動会 中の沢保育所

平成30年度中の沢保育所の運動会は9月15日、中ノ沢体育館で開かれました。当日はあいにくの雨天となり、体育館での開催となりましたが、子どもたちは日ごろの練習の成果を元気に披露しました。全児童によるかけっこや、たんぽぽ、もも組による「おつかいアリさん」、さくら組による「ドラえもののヒミツ道具」など14の演技が行われ、元気に演技する子どもたちの姿に会場を訪れた保護者からは盛んな声援が送られました。



「ドラえもののヒミツ道具」で競い合う子どもたち



「自分たちにできる保全活動は何か」を話し合う生徒

## 町政出前講座を実施 猪苗代高校

猪苗代高校では9月19日、町政出前講座の一環として猪苗代湖の水環境保全について学習しました。この日は町企画財務課の職員が講師となり、3年1組の生徒が猪苗代湖の水質の現状や環境保全の取り組みなどについて学習しました。安部樹さんは「猪苗代湖をこれからもきれいに保つため、自分もボランティア活動に参加したいです」と話しました。同校では今年度、4回にわたって出前講座を行う予定です。



アグリいな田んぼで稲刈り体験を行う児童

## 大きく育った稲を収穫 千里小学校

アグリいな田んぼでは9月20日、5月に千里小学校5年生の児童が植えたヒメノモチの苗が収穫時期を迎え、同校5年生の児童10人が稲刈りを体験しました。児童たちは、アグリいな職員から稲の持ち方や鎌の使い方を教わった後、稲を丁寧に刈り取りました。屋部朱音さんは「みんなで収穫できて楽しいです」と稲刈りの感想を話しました。収穫したヒメノモチは、10月に同校で開かれる秋祭りでの餅つきに使用する予定です。

# 笑顔でこんにちは



大好きなママと一緒に「ハイ、チーズ」

「絢」は綺麗な人になるように。川の道しるべという意味がある「滯」は人生に迷わないように。絢滯ちゃんの名前には、そんなパパとママの願いが込められています。

## 安藤 絢滯 ちゃん

平成28年10月生まれ  
～名古屋町  
典浩さん・仁美さんご夫妻の長女

歌とダンスが得意な絢滯ちゃん。懐中電灯をマイクに見立てて、まるでアイドルのように歌いながら踊ります。ままごとは、絢滯ちゃんはママに变身。ママの仁美さんの真似をして、料理を作ってくれるそうです。絢滯ちゃんは普段、祖母の淑子さんと積み木やブロックで遊んで過ごしています。パパの典浩さんと仁美さんが休みの日は、カメリーナに散歩に出掛け、思い切り体を動かして遊びます。典浩さんは「人より秀でたものを一つ見つけてほしい」と話します。

仁美さんは「みんなから愛される人になってほしい」と話しながら、絢滯ちゃんに優しく微笑みかけました。家族みんなの愛情を受けながら、絢滯ちゃんは元気に成長しています。※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62)2111

# 地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！  
地域おこし協力隊

## 遠藤 孝行さん

※ウォールアートフェスティバル in 猪苗代の詳細については、ホームページ <http://wafes.net/inawashiro/> をご覧ください。



▲イベントに向けて準備を進める実行委員会のメンバーら

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の遠藤孝行です。私が担当する業務内容は、ふるさと納税の推進と猪苗代町の地域振興です。この度、地域振興の一環として、11月3、4の両日に開催される「ウォールアートフェスティバル in 猪苗代」のお手伝いをするになりました。このイベントは、「アート×学校×地域」をテーマとしており、学校に壁画やアート作品が展示されます。また、誰でも参加できるワークショップがたくさん用意されており、学校・町・ふくしまが想像と創造の熱に包まれます。会場は、翁島小学校、吾妻中学校、猪苗代高校の3校とはじまりの美術館、和みいなどです。入場券は、高校生以下は無料、一般の方は1500円ですが、町民の方(身分証明書などで住所を確認します)は町民特別割引にて1000円で入場可能です。さまざまなアート作品に触れていただきたいと思いますので、ぜひ会場にお越しください。